

## 第10回加賀温泉駅施設整備検討委員会（市民説明会）における意見及び回答

開催日時 令和元年11月28日（木）午後1時30分から

場 所 加賀市民会館大ホール

加賀温泉駅において、加賀市が整備する各施設に対しての検討委員及び参加者の意見を表にまとめました。（Q：意見、質疑、A：事務局の回答）

<広場、都市施設>

（検討委員）

Q1	ガレリア前には雪吊りができるような木を植えてほしい。
A1	北陸の冬を感じられるように雪吊りも検討していく。
Q2	バスエリア内の進行方向は一方通行なのか。
A2	時計回りに一方通行となる。
Q3	駅周辺の商業施設の外壁の色調を、駅に合わせて一体感を出してほしい。
A3	商業施設の管理者と協議していく。
Q4	地下自由通路のエレベーターなどはバリアフリーに対応しているのか。
A4	バリアフリーの基準に沿って設計していく。
Q5	ガレリアの外周の壁は開放されているのか。
A5	広場となるので、基本的には開放する。冬場については防風スクリーンなど風対策を行う。
Q6	インスタ映えするスポットをつくって欲しい。
A6	ガレリア前の庭園がインスタ映えする場所となると考えている。
Q7	駅前の各交通エリアに向かう通路に屋根はあるのか。
A7	屋根がついており、雨に濡れずに移動できるようになっている。
Q8	コロネードでは横殴りの雨で濡れたりしないようにしてほしい。
A8	防風スクリーンを設置して濡れないよう検討している。
Q9	一般車駐車場の出口は県道側のみなのか。
A9	信号のある（加賀温泉駅前）交差点からなら左右どちらにも出やすいため出口は県道側に設置した。

Q10	高架下施設内の壁面に掲示物などを無秩序に張って見苦しくならないようにしてほしい。
A10	掲示物はスペースを決めて掲示するなどの対応をする。
Q11	待合室のベンチは、背もたれのある、くつろげるものにして欲しい。
A11	待合室をくつろげる場所とします。その為のベンチとなるよう設計していく。
Q12	九谷焼、山中漆器を使うことになると思うが、メンテナンスも考えて、地元のものを使って欲しい。
A12	それぞれの組合と相談しながら、使う素材等を検討していく。
Q13	海外からの観光客に対応する為、大型のキャリーケースが入るコインロッカーを整備して欲しい。
A13	将来の需要を考慮して、整備する。
Q14	ガレリア（屋根施設）をイベントが出来る施設としているが、音響や垂れ幕など、各種イベントが出来るように設備の設計を考えて欲しい。
A14	想定されるイベントに対応できるよう設備設計をする。
Q15	バス・タクシー・一般車の利用の増加を想定して駐車場などが大きくなっているが、出入りが集中しすぎないのか心配になる。
A15	ラウンドアバウトは環状内に車両が走っていなければ円滑に侵入でき、信号よりも柔軟な対応ができる。将来的な交通需要を予測し、問題ないと判断した。
Q16	積雪の対策はどうするのか。
A16	来年度に具体的な設計を進め、車道は全て消融雪装置を設置する予定となっている。また、積雪量によっては機械除雪も視野に入れて計画していく。
Q17	レンタサイクルについて、観光案内所との連携が取れるような動線に配慮してほしい。
A17	レンタサイクルを利用する観光客をスムーズに誘導できるように、サイン等の案内誘導には気を付けていく。

(参加者)

Q1	ガレリアの耐用年数はどれくらいを想定しているのか。木造だと30年くらいだと思うが、その後のメンテナンスはどう考えているのか。
A1	木造部分には直接雨風は受けないため、適切にメンテナンスを行っていけば100年でも大丈夫だと思っている。
Q2	ガレリア天井部に鳥の巣などは想定しているのか。
A2	金沢駅などの事例を基に対策を進める。
Q3	高架下の通路が狭いのではないかと。全体的に小さく感じる。
A3	通路幅は4m以上あり、キャリーケースを持っている人の交差でも問題ない。高架下のスペースはJR西日本から借りるため、JR西日本との協議の結果この形となった。
Q4	山中の総湯ではコインロッカーに小学生の絵を蒔絵にして装飾をしている。伝統工芸の活用をしてほしい。
A4	維持管理の問題も含めて検討していく。
Q5	加賀温泉駅なのに、温泉の雰囲気を感じられない。
A5	実施設計を進める中で、内装などに工夫していきたい。
Q6	高架下都市施設において、観光客以外の利用はどのように考えているのか。
A6	今回はハード面が主となっているが、今後施設をどのように利用していくかというソフト面での検討も必要だと考えており、色々な意見を伺いたいと思っている。
Q7	ガレリア内でのイベントはどの程度の規模まで考えているのか。中高生のブラスバンドなども可能なのか。
A7	設備的な部分は検討中で、ブラスバンドなども演奏できるよう検討したい。
Q8	ガレリアのオープニングセレモニーはどのようなものを考えているのか。
A8	完成まで3年以上あるので、今後検討していく。
Q9	高架下の施設は、観光関係ばかりだが、市民が使えるような施設として欲しい。
A9	駅前広場内のガレリアと同様に、高架下においても市民が利用できるように、ソフト事業にこれから注力していきたい。

<県道緑地>

(検討委員)

Q1	県道沿いの樹木で駅が見えなくなるのではないか。
A1	近づくにつれて徐々に駅舎が見えてくるというシーンを描いている
Q2	観音様の見え方はどうなるのか。
A2	ラウンドアバウト付近まで近づくとほぼ見えなくなる。

(参加者)

Q1	ガレリア前の緑地については、斬新なものをお願いします。
A1	皆様から意見をいただきながら検討を進めていく。
Q2	緑地帯に植樹は不要。管理できない。
A2	緑陰は、夏の日よけ等に必要。極力維持管理費が掛からないよう計画していく。
Q3	ラウンドアバウト交差点は、出入口が5か所あり、混雑することにならないか。
A3	交差点に信号は無く、スムーズな交通の流れは確保できる。
Q4	県道は2車線の計画だが、3車線は必要と思う。
A4	交通量調査により、2車線で十分である。また、道路計画についても、都市計画審議会で審議された結果によるもの。